

液状化

そもそも液状化は、どうやって起きるの？

液状化発生メカニズム（略図）

軟弱砂層



河川の氾濫、地震時の津波等により運ばれて堆積した土砂などで出来た沖積層地盤や、池・沼・湿地・河川跡・海浜などを埋め立てた地盤では、十分に固められていないため、大きな地震によって揺されると、液体状になることがあります。この現象を「液状化」と呼んでいます。この時、道路と建物の間や路面の亀裂などから地下水と一緒に砂が地上へ噴出する噴砂現象のほか、地盤が水平方向に流動する流動化現象（側方流動）が起こります。地盤は沈下し、建物などの構造物は支えを失って沈下や傾斜（傾倒）するだけでなく、地面に埋設されているマンホールが浮き上がり、上下水道・ガス管等ライフラインの損壊や管に液状化した土砂が入り込むこともあります。これらのため、トイレや水道が数か月をわたって使えず、日常の生活ができなくなります。また、道路・橋梁・河川堤防などの都市基盤にも大きな被害が生じ都市機能が麻痺します。

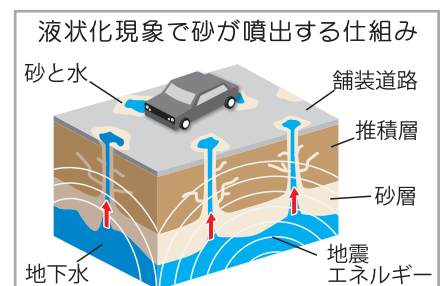
あなたの住んでいる地域のハザードマップや地盤の成り立ちを調べてみましょう。液状化しやすい場所にお住まいの方は、地盤改良をするなど対策を講じましょう。



液状化の様子



液状化の様子



問2

正解は ① 液状化 でした！

おもてのマップでもわかるように、幸田町ではかつて池があった地域などで液状化の危険があることが分かります。